

西東京市立学校施設 建替・長寿命化及び大規模改造等事業計画 (平成26～28年度)を策定しました

市立小・中学校28校のうち16校は、昭和30年代から40年代に建設されており、今後、次々と校舎及び体育館が更新時期を迎えることとなります。これを受け、老朽化対策を計画的に進めていくために、庁内関係部署で構成される「学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会」により検討を行い、平成26年教育委員会第5回定例会において、本計画が決定されました。

これまでの施設老朽化に対する教育委員会の取組としては、合併特例債などの特定財源を有効活用して、大規模改造事業を行うことなどで対応してきましたが、平成22年度以降については、通常の大規模改造に優先して、全中学校完全給食実施に向けての施設整備や全小・中学校普通教室空調設備整備などの大規模な工事を実施しています。

施設の老朽化対策は、教育環境の質的向上と安全・安心の確保の点から、避けては通れない課題であり、次世代への責任を果たすべく、学校施設の環境整備として、適切な老朽化対策が求められます。

また、学校施設の老朽化対策を進めるに当たっては、児童生徒数の推移や、地域の実情などを勘案した学校施設の適正配置の在り方、さらには、学習指導要領や特別支援教育などの学習環境の変化に応じた、適切な施設規模・整備内容に係る検討が必要となります。加えて、教育環境の質的向上と安全・安心な施設環境の整備を図りつつ、地域や時代のニーズに即した視点も求められます。

厳しい財政状況下において老朽化対策を進めるに当たり、こ



市立小・中学校28校のうち16校は、昭和30年代から40年代に建設されており、今後、次々と校舎及び体育館が更新時期を迎えることとなります。

れらの諸課題を整備内容に反映していくためには、学校施設の建替・長寿命化及び大規模改造に係る基本的な考え方を整理し、これに基づいた計画を策定して進行管理することが必要となります。

本計画では、学校施設の建替・長寿命化及び大規模改造等事業の実施に当たっては、事業が特定の年度に集中することがないように平準化を図りながら、補助金等特定財源を最大限活用できるように配慮していきます。

また、建替・長寿命化及び大規模改造等の考え方として、基本的に建築年順とします。但し同一校の中で、建物(棟)によって建築年が異なる場合は、一定面積を持つ古い建物(棟)を基準に考えるものとします。本計画は、文部科学省作成の「学校施設の長寿命化改修の手引」などに基づき策定していますが、財政状況などを勘案し、総合計画や実施計画に合わせ改定していきます。

◆学校運営課
042(438)4072

泉小学校・住吉小学校の 統合に向けた取組

教育委員会では、平成27年4月1日の泉小学校と住吉小学校の統合に向けて、統合校の校名、校章、歴史の保存等について、統合協議会を設置し、検討を進めています。

統合協議会は、泉小学校・住吉小学校2校の保護者、2校の通学区域の地域住民、2校の校長等に加え、学識経験者2人を合わせた18人の委員で構成されています。

統合協議会では、統合校である住吉小学校の学校づくりに求めたいことや将来像、統合校の校名等について、協議を進めており、いくつかの項目において方向性が示されています。

◆統合協議会の議論◆
統合協議会では、統合校の学校づくりに求めたいこと、意見が活発に交わられました。

意見
統合校の学校づくり
★2校の校風・伝統を融合した学校
★「子どもが主人公」を目指し、一人ひとりを大切にできる学校
★保護者の組織を地域が応援する学校

☆これまでの西東京市の学校のイメージにとらわれない先進的な取組を行う学校等

◆教育企画課
042(438)4070

児童虐待防止 研修会を開催しました

教育委員会では、7月に起きた市立中学校生徒の死亡事故を受け、児童虐待防止に向けた取組を一層推進するために、市立小・中学校の全教員を対象とした「児童虐待防止研修会」を8月28日(木)に行いました。

約700人の教員が保谷こもれびホールに集まり、児童虐待の早期発見と適切な対応について、理解を深めました。



当日は、教育長から、虐待が疑われる場合は、躊躇することなく、子ども家庭支援センター等へ通告すること、また、通告した後は、関係機関と連携を図りながら継続した取組を行う必要がある旨の話がありました。

また、東京都小平児童相談所の谷津洋子所長を講師として招へいし、「児童虐待の早期発見と組織的な対応のために」を演題とした研修を行いました。参加した教員は、児童虐待の傾向や現状について理解を深めるとともに、子どもの安全と命を最優先する組織を構築することの必要性について、深く認識することができました。

◆教育指導課
042(438)4075

お手柄！ 田無小学校の教員 人命救助による表彰

8月26日(火)昼頃、田無小学校正門前の道路を歩行中の方が、体調の急変により倒れました。田無小学校の教員が倒れたことに気づき、他の教員に協力を求め、4人の教員で心臓マッサージを行いました。さらに、校内のAEDを持ち出し、除細動を行ったところ、意識が戻りました。その後、救急車が到着し、病院に搬送され、無事に回復しました。

このことについて、9月1日(月)、東京消防庁から、「消防総監感謝状」が田無小学校に贈られました。

今回の事態に対応した教員は、教育委員会実施の救急救命研修に参加していました。また、田無小学校では、AEDの使用方法について校内研修を行い、全

教員が操作できる体制を整えていました。今回、研修で学んだことを活かし、適切に対応することができました。

教育委員会では、今後も各環境整備に努めてまいります

◆教育指導課
042(438)4075



左から桐生孝文主幹教諭、松熊さつき養護教諭、越前智恵美教諭、染井みゆき教諭

西東京市ブックフェスティバルを 開催しました

7月29日(火)に、保谷こもれびホールにて、西東京市ブックフェスティバルを開催いたしました。このフェスティバルは、小・中学生が読書を通じて、色んな人の体験や考えに触れることで、自分の発想を広げ、広い視野に立って物事を考えたり、様々な課題や悩みを解決するためのヒントを見つけたたりすることを目的に開催しました。

当日は、前半に各中学校の代表生徒が「私の好きな1冊」というテーマで本の魅力について、自分の言葉で生き生きと語りました。また、後半は、元NHKアナウンサー、現こもれびの杜代表の山根基世氏による「もう一度考えたい ことばの力」をテーマに講演会を行いました。講演に参加した方からは、次のような感想が寄せられました。

◆教育指導課
042(438)4075